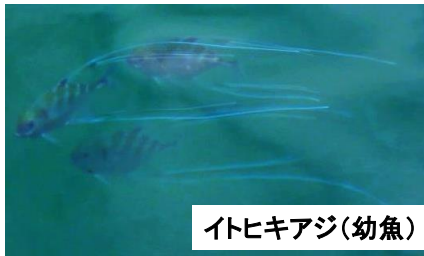


八丈島 水産だより



10月号
2019年



イトヒキアジ(幼魚)

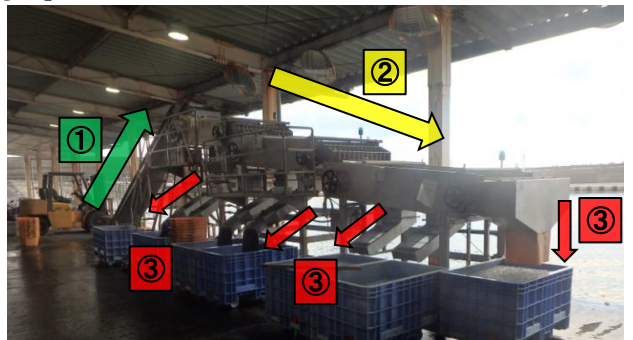


たんぼ祭(稲刈り)

里芋やぶどう、柿などの農産物がお店に並びはじめ、実りの秋を感じます。9月末には秋のたんぼ祭が開催され、稲刈りが行われました。度々接近した台風にも負けず、大きく倒れることなく育った稲穂はサクサクと刈り取られていき、稲刈りは2時間ほどで終了しました。また、島内では道のあちこちに彼岸花が咲き始めています。秋真っ盛りには少し早いですが、いつもより少し視線を上げて小さい秋を見つけてみてはいかがでしょうか。

■ 最近の漁模様 ~ムロアジ漁の様子とは?~

8月にムロアジ漁が始まってから2カ月がたちました。今年はムロアジが島周りを回遊しており、一定の量が水揚げされています。しかし、例年に比べてサイズが小さい個体が多く、加工業者は苦勞しています。9月中旬にはムロアジをサイズ分けする選別機が港に出されました。この選別機を使うことで、サイズごとにムロアジを売ることができます。



- 魚体選別機 (神湊漁港)
- ①: 漁獲されたムロアジを選別機に流す
 - ②: ムロアジをサイズごとに選別する
 - ③: 選別されたムロアジを魚受けに流す

■ サメと漁業の関係



←サメにかじられたハマダイ(オナガ)

↓八丈島近海で捕獲されたサメ



サメ類は外洋を広く回遊する種も多く、八丈島の周辺海域にも十数種類のサメ類が生息しています。サメは広く知られるように肉食性であり、漁業に被害を与えることもあります。左上の写真は、底魚一本釣り漁業で釣り上げる途中にサメにかじられたハマダイ(オナガ)の写真です。こうなると、釣り上げた魚は商品として扱えなくなってしまいます。サメの被害を軽減するためには様々な対策をしています。